

はじめに

「簿記」を経理担当者だけが必要とする知識、と考えている方が多くいます。経理実務では、会計ソフトに入力するだけなので、知識は必要ないと考えている方もいます。

しかし、企業の経営状態を正確に数値化し、客観的に測定することのできる簿記の技術は、**すべての社会人にとって身につけておくべき必須のスキル**です。

簿記は、会社をめぐるお金の流れを記録して、経営活動の成果を報告するための技術です。簿記を学習することで、**企業がどのように利益をあげているのか、その仕組みを知ることができます。**

企画書の作成やさまざまなプレゼンで、どのくらいの利益が見込めるかを明示することができたなら、それはとても強い武器になると思いませんか。

簿記を学習する際には、検定試験の合格を目標とすることをオススメします。代表的な試験としては日本商工会議所が主催する簿記検定(日商簿記検定)があります。

下位級から徐々にステップアップしていくことにより、簿記力が少しずつ身につけていることが実感できると思います。2級の学習終了後は、知識が新鮮なうちに1級の学習を始めましょう。

第2版では、2021年度以降の「商工会議所簿記検定出題区分表」にあわせて加筆・修正しました。2021年度からは**試験時間がこれまでの120分から90分に短縮され、出題形式も大きく変わります。**

本書は、これから簿記を学習される皆さまに、**最少の努力で検定に合格して頂くこと**を目的として、資格の大原の簿記検定講座で長年培ってきたノウハウを活かして作成しております。

本書をフルに活用し、ひとりでも多くの方が合格の栄冠を勝ち取ることを制作スタッフ一同、心よりお祈り申し上げます。

資格の大原

＼大原メソッドで合格へ！／

本書を120%使いこなす方法

資格の大原は、簿記検定でも合格実績はトップクラス！

本書には、長年蓄積されたそのノウハウが詰め込まれています。

合格のコツ

で、一番大事なところがバッチリわかります！ ツポを押さえた効率的な学習を。

スッキリわかりやすい図解が豊富！ イメージしながら学習を進めましょう。

試験に出てくるキーワードは太字でわかりやすい！

SECTION

1

材料費の計算

合格のコツ 材料費の計算図(計算過程)を押さえよう！

① 材料と材料費

材料とは、製品を製造するために消費される物品のことです。
この物品を**製品製造のために消費したとき**、つまり必要なときに作業現場に出庫したとき、その消費高を「**材料費**」といいます。

▶ 材料の流れ



② 材料費の分類

材料費は、特定の製品に対して**直接に認識・計算されるか否か**によって、

● **直接材料費**と**間接材料費**に分類されます。

1 直接材料費——特定の製品に対して直接に認識・計算される材料費

素 材 費	物理的な加工がされて、製品(たんす・机など)の主要な構成部分となる物品の消費額 例: 家具製造業における木材
原 料 費	化学的な加工がされて、製品(ガソリンなど)の主要な構成部分となる物品の消費額 例: 石油精製業における原油
買入部品費	外部から購入し、そのまま製品に取り付けられて製品の組成部分となる物品(部品)の消費額 例: 自動車製造業におけるタイヤ、計器類

26



✓ 出庫……保管している倉庫から払い出されること

用語 チェック

本文で説明していない馴染みのない用語も
簡単な言葉で置き換えて理解できます！

本書の活用ポイントを押さえて、最大限に使いこなし、最短ルートでの合格を目指しましょう!!

資料

5月1日 前月繰越 A材料200kg @300円 60,000円
 10日 A材料800kgを@320円で掛購入した。
 15日 A材料550kgを製造指図書No.8に出庫した。
 20日 A材料300kgを出庫した。
 31日 帳簿棚卸量 A材料 150kg

手順

A 材料	
5/1 前月繰越高 200kg 60,000円 @300円	5/15 直接材料費 550kg 170,500円 @310円
5/10 当月購入高 800kg 256,000円 @320円	5/20 間接材料費 300kg 93,000円 @310円

予定消費価格で計算する!

直接材料費 (5月15日出庫分) $550\text{kg} \times @310\text{円} = 170,500\text{円}$
 間接材料費 (5月20日出庫分) $300\text{kg} \times @310\text{円} = 93,000\text{円}$

POINT!
 問題文に「予定消費価格は○円」と指示があれば、予定消費価格を使用し、なければ実際消費価格を使用しましょう。

練習問題 3-1 解答 p.211

次の取引の仕訳と材料勘定の記入を行いなさい。なお、実際消費量は継続記録法、消費価格は先入先出法で計算する。

7月1日 前月繰越 C材料200kg @300円 60,000円
 8日 C材料800kgを@320円で掛購入した。
 15日 C材料550kgを製造指図書No.10に出庫した。
 20日 C材料350kgを間接材料として出庫した。
 31日 帳簿棚卸高 C材料100kg

材 料	
7/1 前月繰越	60,000
.....
.....
.....
.....

POINT! **NOTE!**
MEMO! など重要度に合わせて簡潔にまとめています。試験で使えるテクニックも満載!

セッションごとに練習問題を出題! 何度も繰り返すほど合格力はアップ! 間違った箇所は×マークなどをつけて見直しに役立てましょう。

つまづきやすいところは資格の大原講師が動画で解説します! あわせて要チェック!

日商簿記2級ってどんな試験？

勉強を始める前に、簿記検定のことを知っておきましょう。

何のための、どんな試験かがわかれば、試験対策にもつながります！

1 日商簿記検定試験とは？

皆さんがこれから受験する「日商簿記検定」は、地域経済の健全な発展を目的として、日本商工会議所が実施している会社会計に関する検定試験です。

学校の試験と異なり、「**社会人として活躍できるかどうか**」が問われるのが特徴で、出題内容はビジネスシーンで生きるものが中心となっています。

日商簿記検定試験各級の学習レベル

級	科目	学習レベル	できるようになること
1級	商業簿記・ 会計学	販売業を営む大企業の簿記と 企業会計に関する法規	会計基準や会社法などの企業 会計に関する法規を踏まえて、 経営管理や経営分析ができる ようになる。合格すると税理 士試験の受験資格が得られる。
	工業簿記・ 原価計算	製造業を営む大企業の簿記と 経営管理・経営分析	
2級	商業簿記	販売業を営む株式会社の簿記	財務諸表の数字から経営内容 を把握できるようになる。
	工業簿記	製造業を営む株式会社の簿記	
3級	商業簿記	販売業を営む小規模の株式会 社の簿記	青色申告書類の作成など、初 歩的な実務がある程度できる ようになる。
初級	商業簿記	企業の日常業務における実践 的な簿記	簿記の基本用語や複式簿記の 仕組みを理解し、業務に利活 用できるようになる。

2

日商簿記2級の試験内容について

学習開始前に試験の概要や出題内容・配点などを知ることは、大切なことです。これらを意識することにより、効率的に学習を進めることができます。以下に、**統一試験（ペーパー試験）**と**ネット試験**についてまとめましたので、受験予定の試験形式について確認しておきましょう。

2級試験概要

試験形式	統一試験	ネット試験
受験資格	制限はなく、誰でも受験できます。	
試験日	年3回 ・2月 第4週日曜日 ・6月 第2週日曜日 ・11月 第3週日曜日	随時 ※左記の統一試験日前後は受験停止期間となりますのでご注意ください。
試験科目	商業簿記・工業簿記（原価計算を含む）5題	
試験時間	90分	
合格基準	100点満点中70点以上で合格	
申込受付	各商工会議所によって申込期間等が異なります。試験日の約3ヵ月前に最寄りの商工会議所へお問い合わせください。 商工会議所検索 https://links.kentei.ne.jp/examrefer	インターネットによる申込のみ 申込専用URL https://cbt-s.com/examinee/examination/jcci.html

2級出題内容 & 配点の目安

	科目	出題内容	配点	時間配分
第1問	商業簿記	仕訳問題5問	20点 (1問4点)	15分
第2問	商業簿記	個別問題（連結精算表など）	20点	20分
第3問	商業簿記	総合問題（財務諸表など）	20点	20分
第4問	工業簿記	(1)仕訳問題3問 (2)部門別計算、個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算など	(1)12点 (2)16点	25分
第5問	工業簿記	損益分岐分析、直接原価計算など	12点	10分

本書で
学習
します。

* 第1問～第3問の商業簿記は、姉妹書『大原で合格する日商簿記2級 商業簿記』で学習します。

3

2級工業簿記で得点するコツは？

工業簿記は2級から日商簿記の試験範囲となり、2級の学習を始める方全員がはじめて学ぶ内容です。配点は**40点**ですが、商業簿記と比較して**満点を取りやすい**という特徴があります。

一方で、部分点が取りにくいという特徴もあるため、工業簿記で得意分野にできるかが非常に重要です。

2級工業簿記で得点するコツは、**勘定や図を使って解くこと**です。工業簿記は細かな計算を行うため、ミスがないように図にまとめながら解答することで、確実に得点できるようになります。

図を使って解く論点には、次のようなものがあります。

材料費会計、労務費会計、製造間接費会計、総合原価計算、標準原価計算、損益分岐分析など

また、工業簿記では、**各勘定の関係性を理解すること**が必要で
す。まずは、各勘定の特徴をしっかりマスターしましょう！

4

日商簿記2級は企業が求める資格No. 1！

簿記を学習すると、企業の採算性、コスト管理、さらには資金繰りといった企業の経営にとって必要な知識を身につけることができます。これは、現代のビジネスパーソンにとって、まさに必須の教養知識です。

日商簿記2級は**株式会社を前提としている**こともあり、**企業が求める資格第1位**といわれています。簿記は、世界の国々で共通して利用されている世界共通言語です！

それでは、いよいよ簿記の学習が始まります！

本書を使って、簿記2級の合格を奪取しましょう！！

CHAPTER

1

工業簿記の基礎

このチャプターでは、工業簿記の基本を学びます。
とくに、原価の分類を確認しましょう。

工業簿記と原価計算

合格のコツ 商業簿記と工業簿記との違いを押さえておこう！

① 工業簿記とは

簿記は、企業の業種によって「商業簿記」と「工業簿記」に大別されます。「商業簿記」は3級でも学習した内容なので、イメージできるでしょう。

では、これら商業簿記と工業簿記にはどのような違いがあるのでしょうか。

1 商業簿記とは？

商社、商店、小売、卸売のような商品売買業の企業に適用される簿記が商業簿記です。これら商品売買業は、「商品」を仕入れ、それを販売して利益を獲得することを目的とします。

2 工業簿記とは？

メーカーのような製造業の企業に適用される簿記が工業簿記です。製造業は、材料を仕入れ、生産設備を利用して「製品」を製造し、それを販売して利益を獲得することを目的とします。

POINT!

製造活動を行うことがメーカーの特徴です。
工業簿記は、製造活動を記録・計算することが最大の特徴です。

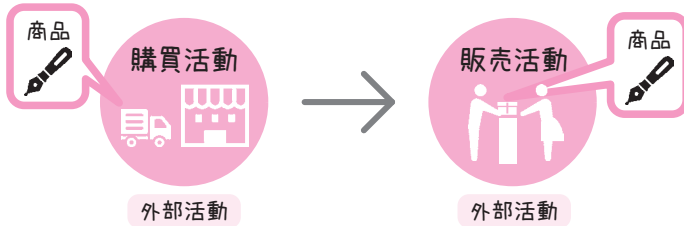
② 原価計算とは

商店で販売される「商品」^{げんか}の原価は、仕入先からの請求書などによって把握することができます。しかし、メーカーでは、**生産された製品の原価はいくらか**を計算しなければなりません。

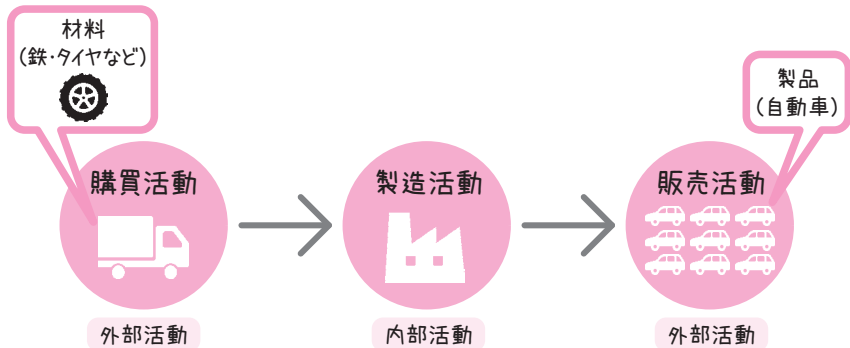
この「製品」の原価は、製品を製造するためにかかった金額（材料の代金、人件費、電気代など）を計算することで把握できます。この計算手続きを「**原価計算**」^{げんかけいさん}といいます。

原価がわからなければ、製品を売ったときにいくら儲かるのかもわかりません。そのため、製品の原価を正確に計算することはとても重要なことなのです。

▶ 商業簿記——たとえば、文房具ショップでは？



▶ 工業簿記——たとえば、自動車メーカーでは？



原 価

合 格 の コ ツ 原価の分類を押さえておこう！

① 原価とは

「^{げんか}原価」とは具体的に何でしょうか。

原価は、**企業の経営活動に必要な費用**であり、**製造原価**、**販売費**、**一般管理費**に分類されます。これらの合計を「^{そうげんか}総原価」といいます。

原価計算の中心は、製造原価の計算です。

原価計算は
ココ!!

製造原価

製品の製造にかかった費用。工場が発生。



販売費

製品の販売にかかった費用。営業所が発生。



一般管理費

企業全般の管理にかかった費用。本社で発生。



総原価

POINT!




「どこで発生したのか」が分類するポイントです。

② 製造原価の分類

製造原価は、必要に応じて「**形態別分類**」と「**製品との関連における分類**」に大きく分かります。この分類ごとに仕訳を行うため、とても重要です。

1 形態別分類——どのような原価が生じたか？

製造原価は、どのような原価が生じたかにより、「**材料費**」、「**労務費**」、「**経費**」に分類されます。以下が、もっとも基本的な分類です。

材料費 	製品の製造のために要した物品の消費高 例：素材費，買入部品費，工場消耗品費など
労務費 	製品の製造のために要した労働力の消費高 例：賃金，給料，従業員賞与手当など
経費 	製品の製造のために要した物品・労働力以外の消費高 例：機械減価償却費，電力料，ガス料金など

2 製品との関連における分類——直接的に認識・計算されるか否か？

製造原価は製品との関連によって、「**製造直接費**」と「**製造間接費**」に分かれます。

製造直接費	製品に対して直接に認識・計算される製造原価
製造間接費	製品に対して直接に認識・計算されなかった製造原価

たとえば、工場でA型車とB型車を製造している自動車製造業の場合で考えてみましょう。

1本3,000円のタイヤをA型車に4本取り付けた場合、A型車の材料費は12,000円（3,000円×4本）と計算できます。このように、**特定の製品に対して消費額を直接的に計算できる原価**を「製造直接費」といいます。

一方で、工場全体の電気代が100,000円であった場合、A型車だけを製造するためにいくらの電気代が発生したかは具体的にわかりません。このように、**特定の製品に対して消費額を直接的に計算できない原価**を「製造間接費」といいます。

POINT!

▶ 製造原価の分類

		製品との関連による分類	
		製造直接費	製造間接費
形態別分類	材料費 ← モノの消費	直接材料費	間接材料費
	労務費 ← 人件費	直接労務費	間接労務費
	経費 ← 材料費・労務費以外	直接経費	間接経費

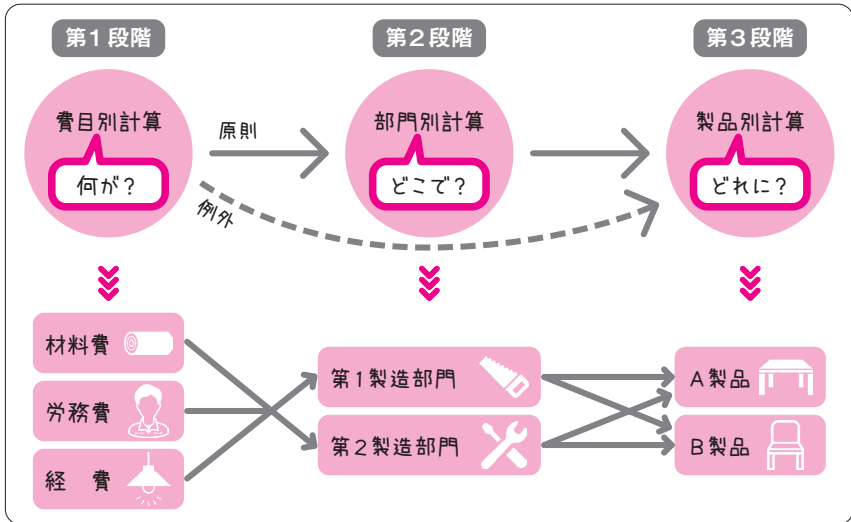
原価計算の手続き

🌸🌸🌸🌸 原価計算の流れを押さえておこう！

① 原価計算の手続き

原価計算は、原則的に3つのステップを経て行われます。なお、例外的に第2段階の「部門別計算」は省略される場合があります。

▶ 原価計算の流れ



第1段階 費目別計算…製造原価を材料費・労務費・経費に分類し、その消費額を計算し、さらに製造直接費と製造間接費に分類測定します。

第2段階 部門別計算…費目別計算で把握された原価が、どこで発生したのか、または誰の責任で発生したのかを分類集計します。

第3段階 製品別計算…原価を一定の製品に集計し、製品の単位原価を計算します。

2 製品別計算の種類

製品の生産方法はメーカーによってさまざまです。そこで、第3段階「製品別計算」では、生産方法の違いによって「個別原価計算」と「総合原価計算」のいずれかの方法を企業は採用します。

1 個別原価計算

顧客の注文に応じて製品を生産する^{こべつじゅちゅうせいさんけいたい}個別受注生産形態（オーダーメイド）に適用される原価計算が、個別原価計算です。

▶例



2 総合原価計算

同じ規格の製品を大量に生産する^{たいりょうみこみせいさんけいたい}大量見込生産形態に適用される原価計算が、総合原価計算です。

▶例



POINT!

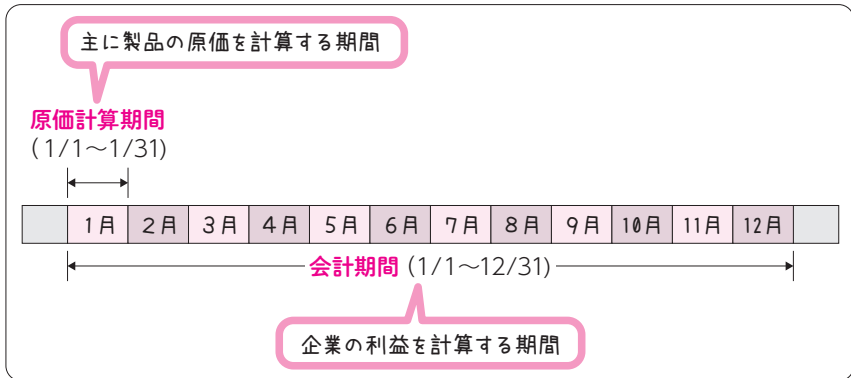
- 個別原価計算→オーダーメイドで注文を受けてから作る企業が採用
- 総合原価計算→既製品を大量に作り、お店に卸す企業が採用

3 原価計算期間

工業簿記も商業簿記と同じく、**会計期間は通常1年間**です。

さらに工業簿記では、この会計期間とは別に原価計算を行うための「**原価計算期間**」を設けます。

この**原価計算期間は通常、暦の1ヵ月間**です。よって、月初は毎月の1日、月末は末日です。



練習問題 1-1

解答 p. 210

次の図の () 内に入る適当な語句を下記の語群から選び答えなさい。

		販 売 費	
		()	
()	()	製 造 原 価	()
直 接 労 務 費	製 造 直 接 費		
直 接 経 費			

【語群】

製造間接費 直接材料費 総原価 一般管理費

CHAPTER

2

工業簿記の記帳方法

このチャプターでは、工業簿記の勘定や仕訳を学習します。
各勘定が関連しているため、その関係性を理解することが
工業簿記では非常に重要です。

【著者紹介】

資格の大原

簿記、公認会計士、税理士、社労士など会計・法律分野の資格試験から医療・介護福祉、情報処理、公務員試験まで様々な分野で受験指導を行う専門学校。難関資格試験でも多数の合格者を輩出し、特に公認会計士と税理士の合格実績には定評がある。また、近年では地方公会計や農業簿記の分野にも力を入れている。

「就職の大原」としても著名であり、資格取得後の就職を見据えた受験指導を行っている。

<https://www.o-hara.ac.jp>

大原で^う合格る日商簿記2級 工業簿記〈第2版〉

2018年2月10日 第1版第1刷発行
2020年1月20日 第1版第7刷発行
2021年7月10日 第2版第1刷発行

著者 資格の大原
発行者 山本 継
発行所 (株)中央経済社
発売元 (株)中央経済グループ
パブリッシング

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-31-2
電話 03(3293)3371(編集代表)
03(3293)3381(営業代表)
<https://www.chuoheizai.co.jp>
印刷/昭和情報プロセス(株)
製本/有井上製本所

©2021
Printed in Japan

*頁の「欠落」や「順序違い」などがありましたらお取り替えいたしますので発売元までご連絡ください。(送料小社負担)

ISBN978-4-502-39521-5 C2334

JCOPY〈出版者著作権管理機構委託出版物〉本書を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書をコピーされる場合は事前に出版者著作権管理機構(JCOPY)の許諾を受けてください。

JCOPY(<http://www.jcopy.or.jp> eメール: info@jcopy.or.jp)